



2019年9月10日

JR東日本秋田支社

「新しい鉄道林」植樹式を開催します

JR秋田支社には、吹雪や土砂崩れなどの自然災害から鉄道を守る鉄道林が474ヘクタールあり、100余年の歴史を有しています。このたび、鉄道林の更新の取組みの一環として、奥羽本線鹿渡駅～森岳駅間において、「新しい鉄道林」の植樹式を開催します。当日は、地元小学生やJR関係者を中心に約800名による植樹を予定しています。

1 開催日時
2019年9月21日（土）13時00分から14時35分まで〔雨天決行〕

2 開催場所
奥羽本線 鹿渡駅～森岳駅間
鹿渡5号鉄道林地内
(秋田県山本郡三種町鹿渡字塞ノ神地内)



3 参加者（予定）

(1) ご来賓

三種町長 田川 政幸 様
三種町教育長 鎌田 義人 様

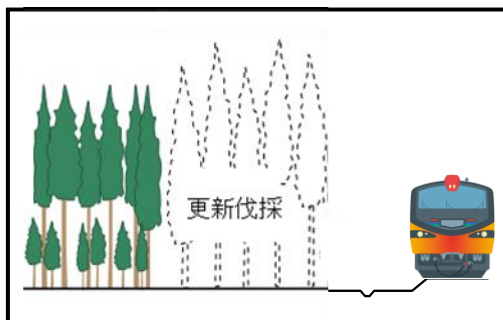
(2) 出席者

東日本旅客鉄道株式会社
常務執行役員 伊勢 勝巳
執行役員設備部長 中西 雅明
執行役員秋田支社長 木村 英明
三種町内の小学生（4～6年生） 約340名
JR社員、社員の家族、グループ会社社員 約460名

6 植樹内容
2,500㎡の敷地にコナラ、クリ、イタヤカエデ等、13種類、約7,000本を植樹します。
※植樹式は、国立研究開発法人防災科学技術研究所の島村誠イノベーションセンター長にご指導をいただき、その土地本来の樹種（潜在自然植生）で植樹を実施します。

7 「新しい鉄道林」の取組みについて

2007年度からスタートした「新しい鉄道林」の取組みは、線路の防災と沿線の環境保全の両立を目的とし、更新時期を迎えた鉄道林の植え替えを約20年かけて行います。その土地風土にあった複数の樹種を混植させることで、多様性があり、生態系として強い鉄道林を形成しています。



8 植樹式会場



参考写真



鹿渡5号林の現況 (2019年8月)



鹿渡6号林植樹式の様子 (2015年9月)